やっとかめ文化祭

歴史まち歩き

13 中村・大門

コース【地下鉄中村区役所駅▸▸地下鉄中村日赤駅】

名も無き人らの白骨観音に遊郭跡、歴史の光と影を今に伝えるディープなまち

尾張中村は、かつてのどかな田園地帯でした。大正以降、大須から移転した遊廓が設置され、昭和初期には1,000名もの娼妓を抱える一大歓楽街となりました。華やかな街の陰には悲しい遊女たちの物語も。
当時の隆盛を偲ばせるレトロ建築物が今も残る中村・大門は、歴史の光と影を伝えるディープなまちです。

① 米野火葬場阯

現在はお寺になっています。

② 中村観音(白王寺)

中村観音通り沿いにある曹洞宗の寺院。この寺には、無縁仏の遺骨を固めて作ったという高さ8m、重さ15tの観音像があります。昭和の初め、米野火葬場に放置されていた無縁のご遺骨を供養するためと、地域の発展守護を願い、初代住職が仏師花井探嶺氏を招いて昭和4年(1929年)に着工、4年後完成しました。
昔の遊郭では、病気や虐待、自殺などによって命を落とす娼妓が少なくなかったため、身売りされてきた娼妓たちは無縁仏となりました。賑やかさの裏側には、このような悲しい歴史もありました。

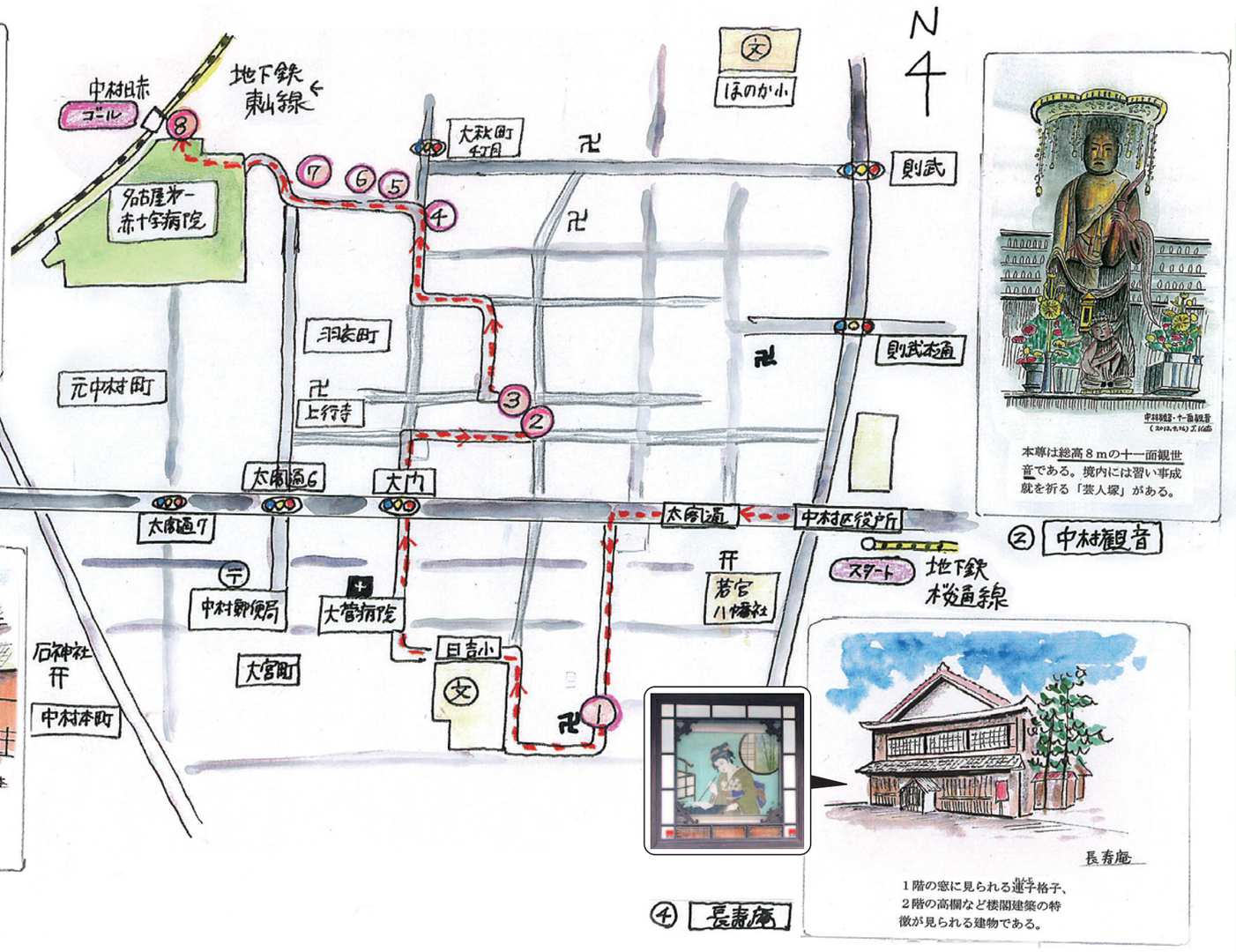
③ 中村映劇

市内で最も古い劇場。成人映画館。

④ 長寿庵

中村遊郭が成立した大正12年(1923年)当時から続く、貴重な妓楼建築。大門通りと寿町通りの交点にあります。名古屋市の都市景観重要建築物に指定されています。長寿庵の壁面には美人画が飾られ、昔の遊郭建築の名残を感じさせます。

中村遊郭



べんがら塗りの塀と反りの強い屋根を持つ中国風の門は江戸末期の文化の影響を受けた。

⑥ 旧料亭 稲本

1階の窓に見られる連子格子、2階の高欄など楼閣建築の特徴が見られる建物である。

④ 長寿庵

本尊は総高8mの十一面観世音である。境内には習い事成就を祈る「裳人塚」がある。

② 中村観音

⑤ 松岡健遊館(旧松岡旅館)

日吉町通り沿いにある、大正元年(1912年)築の妓楼建築。遊郭廃止後は長らく料理旅館として営業していましたが、平成13年(2001年)4月に改装され、デイサービスセンター「松岡健遊館」として生まれ変わりました。華やかな昔を偲ばせる雰囲気がお年寄りにも好評だそうです。
名古屋市の都市景観重要建築物に指定されています。

⑥ 料亭稲本

中村遊郭が成立した大正12年(1923年)当時からの妓楼建築。こちらも日吉町通り沿いの、松岡健遊館のはす向かいにあります。べんがらの壁と中国風の門が特徴的で、当時としては画期的な建築だったのでしょう。数年前まで料亭として営業していましたが、現在は閉店しています。名古屋市都市景観重要建築物に指定されています。この近くには他に大観荘という料理旅館もあり、都市景観重要建築物に指定されていましたが、惜しくも平成15年(2003年)ごろに取り壊されました。跡地はドラッグストアになっています。

⑦ 素盞男(すさのお)神社

素盞男神社は、安永3年(1774年)現在の名古屋市千種区内山付近に創建され、昭和8年(1933年)に現在地に御遷座されました。
11月の酉の日の午前12～翌日の午前12時まで、商売繁盛、家内安全を祈願する「酉の市」(おとりさま)が開催され、一の酉の一番札を頂こうとする人や、開運の熊手、福招きの箕、宝船などを求める参拝者で賑わいます。
また、1月6日に行われる「新年特別祈祷」では、日頃お世話になっている感謝の気持ちを込めて、普段使用している電卓や帳簿などのお祓いをしていただけます。
7月20、21日の例祭では、茅の輪くぐりが行われます。

⑧ 遊里ヶ池

大正初めまで田畑しかなかった中村遊廓建設用地を整備するためにたくさんの土砂を掘ったので、遊廓西隣に遊里ヶ池が生まれました。夏はボート・魚釣り等で賑わい、中村周辺に住む人たちの憩いの場所でした。
初期の遊郭名物であった花火大会の仕掛け花火はこの池畔で行なわれました。池の中心には、南からのびる半島が設けられ、その半島には弁天寺が造られました。当時遊里ヶ池では娼妓による投身自殺が絶えず、自殺した娼妓の霊を慰め、かつ自殺防止のため、女性の幸福を守る守護神として、琵琶湖の竹生島から弁財天を迎えての建立でした。
現在では池は埋め立てられ、中村日赤病院となっています。敷地内には現在でも霊を弔う弁財天の祠があります。

〈注意事項〉この地図は「歴史まち歩き」の資料として作成されました。まち歩きには、歩きやすい服装と靴でご参加ください。車などに十分注意し、各自で責任をもって行動してください。住宅地では住民のプライバシーに十分配慮して歩きましょう。●お問い合わせ:(公財)名古屋観光コンベンションビューロー　TEL 052-202-1145(この情報は平成25年11月現在のものです。)